

平成 30 年 6 月 28 日

早期水稲情報 第 2 号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

6月1～10日の気象は、気温が平年より1.8℃高く、降水量が80%、日照時間が155%で、高温多照で経過しました。

6月8日時点での水稲の生育は、平年に比べて、草丈では97～120%の「平年並～高い」、茎数では83～104%の「平年並～やや少ない」の状況で、有効茎は概ね確保されています。

移植期～6月10日の気象条件は、平年に比べて平均気温が高く(+1.9℃)、日照時間もやや多く(139%)、高温多照で経過していることから、4月4～5半旬に移植した場合、出穂期は平年より2～3日早い7月9～15日頃と予想されますので、ほ場ごとに葉色と草姿（葉が直立しているかどうか）及び幼穂長を確認し、適期に穂肥を施用しましょう。

☆生育調査結果☆

調査月日	5月30日		6月8日		6月20日			
	草丈 cm	茎数 本数 /m ²	草丈 cm	茎数 本数/ m ²	草丈 cm	茎数 本数/ m ²	幼穂長 mm	葉色
コシヒカリ	25.9	229	39.9	455	57.5	562	-	3.2
夢つくし	23.8	140	35.7	287	51.1	446	-	3.6

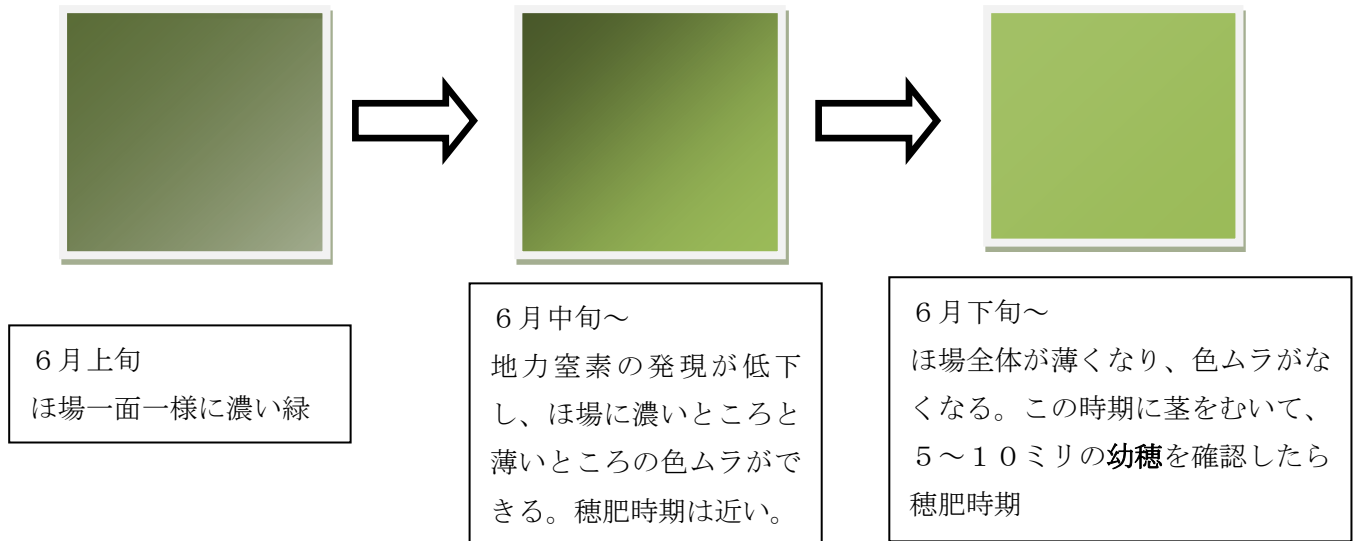
1. 水管理

中干し終了後は、湛水状態にせず、間断かん水を行ってください。その後穂ばらみ期からは湛水状態（花水）にします。

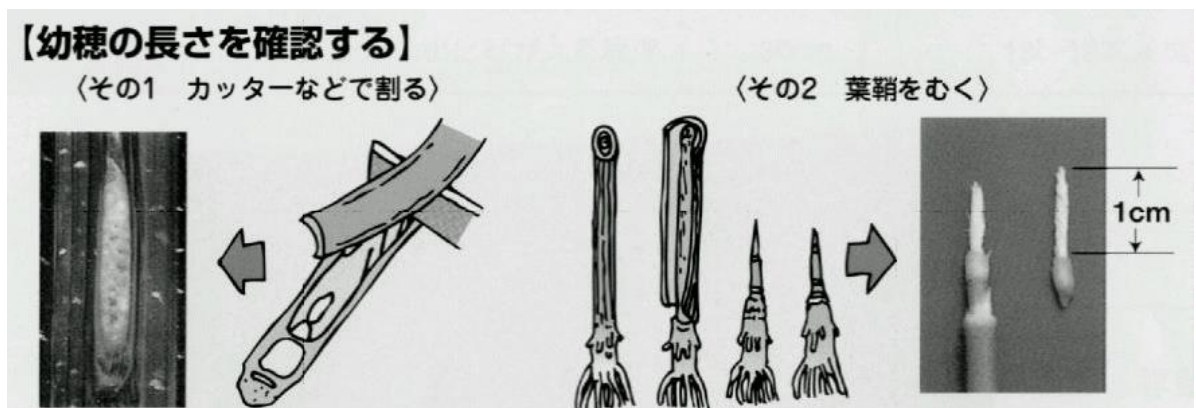
2. 穂肥

穂肥は、籾数の確保を図るために欠かせません。施用時期が早すぎると、下位節間（第一伸長節間）が伸長して倒伏しやすくなります。ほ場を見て状況に応じて施用してください。

【穂肥の目安】



※葉色がやや濃い場合は、施用時期を数日遅らせ、施用量もひかえめにしてください。
ほ場によって生育（幼穂長や葉色）が異なります。ほ場を確認してから施用時期、施用量を決めてください。



3. 病害虫防除

いもち病

いもち病を見つけたら、直ちに下記の薬剤を散布してください。

薬剤名	使用量 (10a 当たり)	使用時期
コラトップ粒剤 5	3～4 kg	葉いもちは、初発 10 日前～初発時 穂いもちは、出穂 30 日～5 日前

